

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 28日

事業所名 はなまる 桜ノ宮店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		トイレ前に段差がある。歩行訓練や下半身の運動で活用してきます。 今後の通所児童に応じて、対応していきます。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		定期的にアンケートを配布しており、いただいた療育内容や、相談、意見に応じて対応しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		はなまるグループ全体で、初任者研修、人権擁護研修、また各店舗の職員から上がった内容を研修に落とし込んでいます。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・支援案検討会の機会を設けています。 ・各イベントや、活動ごとに担当やチームで分かれ、直近の子ども達の様子をもとに立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子ども達が楽しみながら、個々の個別支援計画に直結できるよう、わらいや目的を考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		学習支援、SST、食育、運動など、様々な活動プログラムを用意しており、日に応じて対応しております。長期休暇中には、宿題支援を積極的に入れ、学習に取り組める時間を設けております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		平日のみになるが、習慣化しています。 土日祝日では、送迎面で行っていない日がある為、前日の終礼や引き継ぎノートに記載し、共通理解ができるようにしています。

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を必ず行い、出来事や送迎時にお話したことを共有しており、共通理解につなげています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々、ケース入力をしています。 ・終礼時に各支援者から意見を出し合い、偏りなく様々な角度からアプローチできるようにしています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との情報共有を定期的の実施しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現段階では実施できておりませんが、保護者の方や、地域の方達のご要望に応じて検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		可能な限り参加していますが、スケジュールが合わない時もあり、積極的には参加できておりません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・送迎時に、適切な出来事を共有できるように、各職員からヒアリングを行い、各支援員の目線からお伝えできるようにしています。 ・定期的にお写真をお送りし、様子がより伝わりやすいようにしております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や、LINEなどから定期的に相談があり、対応しています。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		1年に2回を目安に保護者会や、参観を実施しております。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談に応じて、お電話や直接お話しできる機会を作っております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月毎に、イベント表やお便りを配布しております。	
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		ハロウィンに各自治体に訪問し、イベントを通じて地域に向けてご挨拶をしています。勤労感謝の日に協力していただいた自治体にお礼のお手紙をお渡しし、地域交流を図っております。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		2ヶ月に1回のペースで、様々なケースを予想した防災訓練を実施しております。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的を実施しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			